

はじめての鳥見たい(隊)!

歴史散策と野鳥

狭山池築造1400年



やさしいきもち

野外活動、無理なく楽しく

採集は控えて自然はそのままだ

静かに、そーっと

一本道、道からはずれないで

気をつけよう、写真、給餌、人への迷惑

持って帰ろう、思い出とゴミ

近づかないで、野鳥の巣

2016年10月30日(日)

狭山池の歴史

飛鳥時代	616	狭山池築造
奈良時代	731 762	行基による改修 天平宝字の改修
	819	弘仁の改修
平安時代		
鎌倉時代	1202	重源による改修
室町時代	1452	享徳の改修
戦国時代		安見美作守による改修
	1608 1620	慶長の改修(豊臣秀頼・片桐且元) 元和の改修
江戸時代	1693	元禄の改修
	1857	安政の改修・龍神社が池の中に移転
明治	1903 ~ 1907	明治の改修
大正	1926 ~ 1931	大正・昭和の改修
昭和	1962 ~ 1964	昭和の改修
平成	1988 ~ 2002	昭和・平成の改修

行基(ぎょうき) 668年~749年

河内国大鳥郡(現在の堺市西区家原寺町)生まれ。
15歳で出家、南都六宗の一つ法相宗の教義を学び、集団を形成して近畿地方を中心に貧民救済・治水・架橋などの社会事業を精力的に実施。
昆陽池(伊丹市)・久米田池(岸和田市)・狭山池(大阪狭山市)などを改修したほか、東大寺大仏造営にも深く関係。

重源(ちょうげん) 1121年~1206年

12歳、真言宗醍醐寺で出家、のち浄土宗開祖・法然に学び、南宋に留学。
東大寺は1180年、平氏の南都焼討によって大部分が焼失。1181年、後白河法皇に東大寺再建を進言、勸進職に就任、1185年、大仏開眼供養。
狭山池博物館に展示されている「重源狭山池改修碑」には、鎌倉時代のはじめに実施した狭山池改修の契機や工事のようすが刻印。

はじめての鳥見たい(隊)！ 歴史散策と野鳥 狭山池築造1400年

2016年10月30日(日)

天候: 晴れ

日本野鳥の会 大阪支部

みつけた鳥・きいた鳥		姿	声	みつけたとり・きいたとり		すがた	こえ
1	キジ			40	モズ	○	○
2	オシドリ			41	ハシボソガラス	○	○
3	オカヨシガモ			42	ハシブトガラス	○	○
4	ヨシガモ			43	ヤマガラ		
5	ヒドリガモ	○		44	シジュウカラ	○	○
6	マガモ	○		45	ヒバリ		
7	カルガモ	○		46	ヒヨドリ	○	○
8	ハシビロガモ			47	ウグイス		
9	オナガガモ			48	エナガ		
10	コガモ	○		49	メジロ	○	○
11	ホシハジロ	○		50	セッカ		
12	キンクロハジロ			51	ムクドリ	○	○
13	カイツブリ	○		52	シロハラ		
14	カンムリカイツブリ	○		53	ツグミ		
15	キジバト	○	○	54	ジョウビタキ	○	○
16	アオバト			55	ノビタキ		
17	カワウ	○		56	イソヒヨドリ	○	○
18	ゴイサギ			57	エゾビタキ		
19	アオサギ	○		58	キビタキ		
20	ダイサギ			59	スズメ	○	○
21	コサギ			60	キセキレイ	○	○
22	バン	○		61	ハクセキレイ	○	○
23	オオバン	○		62	セグロセキレイ	○	○
24	ケリ	○	○	63	ビンズイ		
25	イカルチドリ			64	アトリ		
26	コチドリ			65	カワラヒワ	○	○
27	クサシギ			66	イカル		
28	イソシギ	○		67	ホオジロ		
29	ユリカモメ			68	アオジ		
30	セグロカモメ			69			
31	ミサゴ			70			
32	トビ	○		71			
33	ハイタカ			72			
34	オオタカ			73			
35	ノスリ			*	ドバト	○	
36	カワセミ	○	○	合 計		31	17
37	アリスイ						
38	コゲラ						
39	チョウゲンボウ						
						31	